



SOKA University

総合型選抜 入学試験要項

2025年度

○ PASCAL入試

LTD方式

試験日：2024年10月19日(土)

プレゼンテーション方式

試験日：2024年10月20日(日)

○ 基礎学力方式

試験日：2024年11月23日(土)

○ 小論文方式

試験日：2024年12月14日(土)

出願方法、入試制度、
入学手続き等
について

創価大学 アドミッションズセンター

TEL：042-691-4617
平日9:30～17:00 土曜日9:30～12:00
※日曜祝日、年末年始は除く
Mail：nyushi@soka.ac.jp

出願書類に不備が
あった場合、
右記の専用窓口から
ご連絡します。

創価大学 入試受付センター

TEL：03-6738-9287
※専用窓口は、不備書類対応専
用のため、その他のお問い
合わせは、上記のアド
ミッションズセンター
にご連絡ください。

Discover your potential

SOKA University

目次

■教育研究上の目的および基本ポリシー (全入試共通).....	2	■出願書類	7
■出願資格		・ 出願書類	7
・ 総合型選抜各入試・方式について	3	・ 出願書類の説明	7
・ 総合型選抜の共通出願資格	3	・ 外部英語検定試験の証明書類・提出方法について	9
・ 各入試・方式ごとの出願要件	3	■合格発表について	10
・ 入学前教育プログラム	4	・ 合格発表の方法	10
・ ChatGPTをはじめとする生成AIの出願書類等での利用について.....	4	・ 合格案内サービスについて	11
・ 受験上の配慮が必要な方	4	■出願方法・入学検定料	12
■総合型選抜 募集人員・出願日程等		■入学手続きについて	13
・ 募集人員	5	・ 入学手続き (スケジュール)	
・ スケジュール	5	・ 入学前教育プログラムについて	
・ 選考方法一覧 (概要)	6	■入学金・学費・諸費	14
		・ 1年次の納付金について	
		・ 2年次以降の納付金について	

PASCAL入試		■受験 (第二次選考) にあたっての注意事項	
■PASCAL入試 選考趣旨	15	・ 第二次選考について	21
■PASCAL入試の第一次選考における各学部の評価の視点 ..	16	・ 受験票について	21
■PASCAL入試 選考方法	18	・ 第二次選考受験上の注意	22
■PASCAL入試 入試日程等	20	・ 第一次選考合格者に対しての通信環境テストについて ..	23
		・ 不正行為について	23

基礎学力方式		■受験にあたっての注意事項	
■基礎学力方式 各学部学科の選考趣旨	24	・ 試験場への入退場	28
■基礎学力方式 選考方法	26	・ 受験票について	28
■基礎学力方式 入学試験日程等	26	・ 受験上の注意	28
■基礎学力方式 試験時間・試験科目	27	・ 不正行為について	29
■外部英語検定試験の利用について	27	・ その他	29
		・ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項.....	30

小論文方式		■小論文方式 受験にあたっての注意事項	
■小論文方式 選考趣旨	31	・ 試験場への入退場	35
■小論文方式 各学部学科の選考趣旨について	31	・ 受験票について	35
■小論文方式 選考方法	34	・ 受験上の注意	35
■小論文方式 入学試験日程等	34	・ 不正行為について	36
■小論文方式 試験時間・試験科目	34	・ その他	36
		・ 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項.....	37

教育研究上の目的および基本ポリシー（全入試共通）

教育研究上の目的および基本ポリシー掲載のWEBページ

<https://www.soka.ac.jp/department/policy/>

1. 創価大学の理念・目的（建学の精神）
2. 創価大学の教育目標（人材育成方針）
3. 創価大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）
4. 創価大学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
5. 創価大学のアドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）
6. 創価大学のアセスメント・ポリシー
7. 創価大学の学士課程共通科目編成方針
8. 各学部における目的および基本ポリシー

- [経済学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/economics/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/economics/>
- [経営学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/business_administration/) https://www.soka.ac.jp/department/policy/business_administration/
- [法学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/law/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/law/>
- [文学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/letters/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/letters/>
- [教育学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/education/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/education/>
- [理工学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/engineering/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/engineering/>
- [看護学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/nursing/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/nursing/>
- [国際教養学部](https://www.soka.ac.jp/department/policy/international/) <https://www.soka.ac.jp/department/policy/international/>

出願資格

総合型選抜各入試・方式について

1. PASCAL入試（LTD方式：全学部[理工学部含む]、プレゼンテーション方式：理工学部のみ）
2. 基礎学力方式（全学部）
3. 小論文方式（全学部）

- ・創価大学への強い意志を持ち、本学を第一志望（1学科専願）とする（合格した場合は必ず入学する）入試
 - ・上記の入試は、合格発表後に次の出願期間があるためすべて併願可能
 - ・PASCAL入試（理工学部）は、LTD方式、プレゼンテーション方式のどちらか1方式のみ出願可（2方式の併願不可）
- ※ PASCAL入試は、運営上オンライン形式での受験になりますが、入学後の授業は対面形式で実施

総合型選抜の共通出願資格

次の（1）～（4）のいずれかに該当する者。ただし、国際教養学部は（5）も出願資格とする。

- (1) 高等学校または中等教育学校を2025年3月卒業見込み及び2024年3月卒業（卒業後1年以内）の者。もしくは高等専門学校第3学年を2025年3月修了見込み及び2024年3月修了（修了後1年以内）の者
なお、創価高校および関西創価高校の場合は、2024年3月卒業の者に限る。
ただし、基礎学力方式および小論文方式は、2025年3月卒業見込みの者でも受験資格を有する場合がありますため、高校へお問い合わせください。
- (2) 特別支援学校の高等部を2025年3月卒業見込み及び2024年3月卒業（卒業後1年以内）の者。
- (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2025年3月31日までに修了見込み及び修了後1年以内の者。
- (4) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に卒業（修了）見込み及び2024年3月卒業（修了）[卒業（修了）後1年以内]の者。
- (5) 国際教養学部については、次のいずれかの資格を有する者
 - ア. 実用英語技能検定2級以上の検定試験の英検CSE2.0スコア2100以上
 - イ. GTEC検定版（Core/Basic/Advancedタイプ）およびGTEC CBTタイプ1120点（オフィシャルスコア）以上
 - ウ. TOEIC®LISTENING AND READING TEST（公開テスト）550以上
 - エ. TOEFL iBTスコア50以上（TestDateスコア）※MyBest™スコア不採用
 - オ. IELTSアカデミック・モジュールオーバーオール・バンド・スコア5以上

各入試・方式ごとの出願要件

（上記の共通出願資格に加えて必要な出願資格）

1. PASCAL入試 出願要件あり
調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.2以上の者。
※「PASCAL入試チャレンジプログラム」修了者は、LTD方式（全学部）について3.0以上の者。
理工学部のプレゼンテーション方式に出願する場合は、成績緩和措置対象外（3.2以上）
2. 基礎学力方式 出願要件なし
3. 小論文方式 出願要件なし

入学前教育プログラム

合格者には、入学前教育プログラムを課す。

ChatGPTをはじめとする生成AIの出願書類等での利用について

生成 AI を含む AI の利用は、利便性や生産性の向上、さらには人間の様々な能力をさらに発揮することを可能とするなど、経済社会を前向きに変えるポテンシャルがあります。一方で、AI の信頼性や誤用・悪用などに対する懸念やリスクも指摘されています。

「創造的人間」の育成を目指す本学における学修は、学生が主体的に学ぶことが前提です。生成 AI の出力をそのまま用いるなど学生自らの手によらずにレポート等の成果物を作成することは、学生自身の学びを深めることに繋がらないため不適切です。

本学では、在学生に対して上記の趣旨にそって、「ChatGPTをはじめとする生成AIの学習等での利用について」という方針を示しております。受験生の皆様にも、総合型選抜等をはじめとするすべての入試において、出願書類等は生成AIを利用せず作成することを求めたいと思います。

今後も継続的な状況把握に努め、技術の進展や指針等の運用状況などに応じて、対応を適宜見直していきます。

創価大学学長 鈴木 将史

受験上の配慮が必要な方

身体等に障害があり、受験する上で特別な配慮を必要とする人は、出願書類を提出する前に創価大学アドミッションズセンター（TEL:042-691-4617）までお申し出ください。その後、2024年7月26日（金）：申請締切日までに、下記の申請を行ってください。

※申請期間外の不慮の事故等による配慮申請は、随時受け付けを行います。配慮内容によって、対応準備に時間がかかる可能性があるため、速やかに創価大学アドミッションズセンターまでご連絡ください。

<申請内容>

- (1) 本学所定用紙「入試における合理的配慮の申請書」を提出してください。申請をもとに審査を行い、配慮を決定します。
- (2) 配慮の内容が決定次第、「入学試験の合理的配慮の回答書」を送付します。この書類の発送をもって、受験上の配慮を許可することになります。
- (3) 入学試験の出願については、入学試験要項に基づき、別途所定の期間に出願手続きを行ってください。

詳細は、下記の創価大学ホームページで必ずご確認ください。

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/department/syougai>



総合型選抜 募集人員・出願日程等

募集人員

学部	学科	入学定員	PASCAL入試			基礎学力方式・小論文方式		
			募集人員	LTD方式※1	プレゼンテーション方式	募集人員	基礎学力方式	小論文方式
経済	経済	190	28	○	—	26	○	○
経営	経営	190	27	○	—	26	○	○
法	法律	240	35	○	—	34	○	○
文	人間	350	52	○	—	50	○	○
教育	教育	80	13	○	—	11	○	○
	児童教育	100	17	○	—	15	○	○
理工	情報システム工	90	14	○	○	11	○	○
	共生創造理工	90	19	○	○	13	○	○
看護	看護	80	18	○	—	13	○	○
国際教養	国際教養	90	10	○	—	10	○	○
総計		1500	233			209		

※1 LTD : Learning Through Discussion (話し合い学習法)

※創価大学専願、1学科専願の入試

※上記の入試は、合格発表後に出願期間があるためすべて併願可能（方式ごとに異なる学科に出願可）。ただし、PASCAL入試（理工学部）は、LTD方式、プレゼンテーション方式のどちらか1方式のみ出願可（LTD方式とプレゼンテーション方式の併願不可）

※合格にふさわしい成績の志願者がいないと判断した場合は、募集人員どおりの合格者を決定しない場合がある。その際は、他の入試に募集人数を加える場合がある。

スケジュール

入試	方式	出願期間	試験日	試験場	合格発表日	入学手続
総合型選抜 PASCAL入試	LTD方式※1	9/2 (月) ~ 9/13 (金)	10/19 (土)	オンライン選考 (ZOOM)	第一次選考 10/1 (火) 第二次選考 11/1 (金)	入学金・手続 12/16 (月) 学費振込期限 3/3 (月)
	プレゼンテーション方式		10/20 (日)			
総合型選抜	基礎学力方式	11/1 (金) ~ 11/11 (月)	11/23 (土)	創価大学	12/4 (水)	入学金・手続 1/14 (火) 学費振込期限 3/3 (月)
	小論文方式	11/22 (金) ~ 12/6 (金)	12/14 (土)		12/21 (土)	

※1 LTD : Learning Through Discussion (話し合い学習法)

選考方法一覧 (概要)

詳細は、各入試の選考方法を必ず確認すること

PASCAL 入試	LTD方式 ※1	<p>≪第一次選考≫ 200点 (全学部)</p> <p>書類審査</p> <p>①調査書</p> <p>②自己推薦書</p> <p>③出願資格・各種資格等証明書類</p>	<p>≪第二次選考≫ 140点 (うち50点は第一次選考×0.25)</p> <p>【LTD方式】 オンライン会議システム「Zoom」を利用しての選考</p> <p>①LTD方式のグループワーク※1 (60分)</p> <p>②個別面接試験※2 (15分) 面接員2名、受験者1名で実施</p>
	プレゼン テーション 方式		<p>≪第二次選考≫ 140点 (うち50点は第一次選考×0.25)</p> <p>【プレゼンテーション方式】 (理工学部のみ) オンライン会議システム「Zoom」を利用しての選考</p> <p>①発表および質疑応答 (約40～60分) 原則、受験者4名1グループで行い、個人で5分発表後、受験者相互に5～10分質疑応答 (4名の場合、4名×(5+5～10)分で約40～60分)</p> <p>②個別面接試験 (15分) 面接員2名、受験者1名で実施</p>
基礎学力 方式		<p>①書類審査 (50点)</p> <p>・調査書</p> <p>・自己推薦書</p> <p>・出願資格・各種資格等証明書類</p> <p>②筆記試験 (60分) (100点)</p> <p>③個別面接試験※2 (50点)</p> <p>面接員2名、受験者1名で実施</p>	<p>筆記試験 1科目受験 (試験当日選択)</p> <p>【経済・経営・法律・人間・教育・児童教育・看護学科】 英語、数学、国語から1科目選択</p> <p>【国際教養学科】 国語</p> <p>【情報システム工・共生創造理工】 英語、数学から1科目選択</p> <p>●試験範囲： 英語：英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ※外部英語検定試験利用可 数学：数学Ⅰ、数学A (図形の性質、場合の数と確率)、数学Ⅱ、数学B (数列) 国語：現代の国語、言語文化 (近代以降の文章のみ)</p>
小論文 方式		<p>①書類審査 (50点)</p> <p>・調査書</p> <p>・自己推薦書</p> <p>・出願資格・各種資格等証明書類</p> <p>②小論文 (60分) (100点)</p> <p>③個別面接試験※2 (50点)</p> <p>面接員2名、受験者1名で実施</p>	<p>出題方針： 自身が関心のある最近の社会問題と創価大学の建学の精神を関連づけて述べる問題。文字数：800字以内 ※3</p> <p>※3 社会問題は、国内・国外いずれの問題であるか問わない。 建学の精神は3つを包括的に述べても1つに絞っても良い</p>

※1 LTD : Learning Through Discussion (話し合い学習法)

※2 国際教養学部の個別面接試験は、日本語と英語の両言語を用いて行う。

出願書類

出願書類

出願に当たって必要な書類は以下のとおりです。



- ※1 出願書類はインターネット出願ページよりダウンロードして印刷し、記入する必要があります。
- ※2 調査書や自己推薦書に記載した資格や実績等については、それを証明する書類（A4サイズ、コピー可）を必ず提出してください。
- ※3 国際教養学部の出願者は、学部が定める出願資格の証明書類も提出してください。
- ※4 PASCAL入試のLTD方式に出願し、「PASCAL入試チャレンジプログラム」の修了者で学習成績の状況（評定平均値）が3.0以上3.2未満の場合は、「修了証」のコピー（A4サイズ）を必ず提出してください。

出願書類の説明

出願書類	提出種別	内容
1. 入学志願票 (顔写真データ※が必要です)	必須	1通（インターネット出願で出願手続き完了後に印刷（片面・両面およびカラー・モノクロいずれも可）したもの） ※2024年8月1日以降に撮影したものを志願票にアップロードする
2. 調査書	必須	1通（2024年8月1日以降に発行したもの、厳封したもの）
3. 自己推薦書	必須	1通（インターネット出願ページから 必ず片面 で印刷し、所定事項を本人が記入したもの） 厳封する必要はありませんが、資格等を記載した場合は、証明書類を必ず同封してください
4. 資格・実績等の証明書類	該当者のみ	自己推薦書に記載した資格・実績を裏付ける証明書等のコピー（A4サイズ）
5. 国際教養学部が定める出願要件証明書類	該当者のみ	国際教養学部が定める出願要件の証明書類 国際教養学部の出願者のみ
6. 「PASCAL入試チャレンジプログラム」修了証	該当者のみ	「PASCAL入試チャレンジプログラム」修了証のコピー（A4サイズ）

以下に説明する各項目をよく読み、出願書類を間違いのないよう準備してください。

1. 入学志願票

- ・「出願手続き」をご確認の上、インターネット出願で出願手続きをしてください。
- ・出願後は志望学部・学科の変更は認めません。

〈個人コードについて〉

入学志願票には6桁の「個人コード」が印字されています。この「個人コード」は、志願者の個人番号です。問い合わせ等の際に確認することがありますので、お手元に控えておいてください。

顔写真データ ※2024年8月1日以降に撮影したもの

- ・インターネット出願にて出願手続きする際に、顔写真データが必要（アップロード形式）となります。
 - ・登録できる写真データは、「jpg (jpeg)」「png」「bmp」「gif」「HEIF (heic)」形式で、データ容量は3MBまでとなります。
 - ・画像は正面上半身（脱帽）、背景は単色無地。
 - ・カラー・白黒ともに可。ただし、スナップ写真は不可。
 - ・試験当日に眼鏡を着用される方は、必ず眼鏡着用の写真データを登録してください。
 - ・合格した場合、この写真データを入学後に交付する「学生証」の写真に使用します。
2. 調査書※2024年8月1日以降に発行したものに限り
- ・1通提出してください（原本のみ、コピー不可）。高等学校等に依頼してください（厳封）。
 - ・自己推薦書に記載する資格、経験、実績について、またPASCAL入試の場合は、P.16～P.17の「PASCAL入試の第一次選考における各学部の評価の視点」基礎学力方式の場合は、P.24～P.26の「基礎学力方式 各学部学科の選考趣旨」小論文方式の場合は、P.31～P.33の「小論文方式 各学部学科の選考趣旨」に記載のある資格、経験、実績などを所持している場合、そのことについて調査書に記載してもらえよう高等学校等に依頼してください。
 - ・調査書等に記載の氏名が現在と異なる場合は、改名を証明できる公的書類（戸籍抄本等）を提出してください。
3. 自己推薦書（学校長等の押印不要）
- ・インターネット出願ページからダウンロードして、**片面A4サイズ**で印刷して使用してください。
 - ・自己推薦書の所定の事項については本人が**鉛筆**で記入してください。
※国際教養学部については、自己推薦文は英文でタイピングしてください。その他の所定の事項は、**鉛筆**手書きで記入してください。
 - ・高等学校等における校外外での活動実績や競技・大会・コンクール等出場歴、および資格・スコア・免許等を記入する場合は、それらの裏づけとなる証明書等のコピーを同封してください。また、資料はA4サイズでコピーしてください。外部英語検定試験の証明書類の提出方法・注意事項は、P.9をご確認ください。
 - ・資格は取得している高位のもののみ記載してください。
 - ・記載できるのは出願期間内に取得完了している資格のみです。出願期間締切後に取得結果が分かるものは記入できません。
 - ・厳封する必要はありません。
4. 資格・実績等の証明書類
- ・調査書、自己推薦書に記載された資格やスコア、諸活動等を証明する書類の写しを提出してください。公的な証明書類がなく、学校が証明書類を作成する場合は、学校長等の押印をしてください。それ以外の場合は、学校長等の押印は不要です。
 - ・提出書類は、A4サイズで統一してください。また、提出枚数は問いません。
 - ・外部英語検定試験の証明書類の提出方法・注意事項は、P.9をご確認ください。
 - ・各実施団体が発行する証明書類に学校長等の押印は不要です。
5. 学部が定める出願要件証明書類
- ・国際教養学部の出願者は、学部が定める出願資格の証明書類を提出してください。
6. 「PASCAL入試チャレンジプログラム」修了証（PASCAL入試 LTD方式 出願者のみ該当）
- ・PASCAL入試のLTD方式に出願し、プログラム修了者のうち、学習成績の状況（評定平均値）が3.0以上、3.2未満の方は必ず「PASCAL入試チャレンジプログラム」事務局発行の修了証のコピーをA4サイズで提出してください。3.2以上の成績の方は提出不要です。
 - ・理工学部のプレゼンテーション方式志願者は、このプログラム修了による成績緩和措置の対象外です。LTD方式が対象です。

外部英語検定試験の証明書類・提出方法について(総合型選抜)

- (1)調査書・自己推薦書に外部英語検定試験を記載する際は、下記の提出パターン①②に基づきご提出ください。
- (2)国際教養学部出願者は、インターネット出願時に出願資格に該当する外部英語検定試験（出願資格基準）を選択してください。出願書類郵送する際に、下記の提出パターン①②に基づきご提出ください。
- (3)基礎学力方式で、筆記試験「英語」について外部英語検定試験の得点換算を利用する場合は、本学インターネット出願時に必要事項を入力し、出願書類郵送する際に、下記の提出パターン①②に基づきご提出ください。

提出方法は、検定試験ごとに異なります。下記に記載している方法以外での提出は、一切認められませんので、必ずご確認の上、指定の方法で提出してください。

【提出パターン①】 スコア等証明書のコピーを他の出願書類と一緒に郵送	
検定試験名	提出方法詳細
実用英語技能検定	●出願書類として、 <u>合格証明書（和文・英文どちらでも可）、CSEスコア証明書のどちらか1つのコピー</u> を、他の出願書類とともに郵送してください。 ※ 個人成績表は、認めませんのでご注意ください。
・GTEC検定版 （Core/Basic/Advancedタイプ） ・GTEC CBTタイプ	●出願書類として、 <u>OFFICIAL SCORE CERTIFICATE※のコピー</u> を、他の出願書類とともに郵送してください。 ※ SCORE REPORTは、認めませんのでご注意ください。
TOEIC® LISTENING AND READING TEST （公開テスト）	●出願書類として、 <u>公開テスト：Official Score Certificate（公式認定証）またはデジタル公式認定証※のコピー</u> を、他の出願書類とともに郵送してください。 ※ 「団体特別受験制度（IP：Institutional Programテスト）」は対象外ですのでご注意ください。
IELTS アカデミック・モジュール （オーバーオール・バンド・スコア）	●出願書類として、 <u>IELTS成績証明書（Test Report Form-TRF）のコピー</u> を、他の出願書類とともに郵送してください。

【提出パターン②】 本学出願前に、実施団体から創価大学宛にスコア証明書の直送手配をかけ、直送依頼をかけたことがわかるもの（依頼履歴や確認メール）とTest Taker Score Reportのコピーを、他の出願書類と一緒に郵送	
検定試験名	提出方法詳細
TOEFL iBT （Test Date スコア） ※MyBest™スコア不採用	● 実施団体から創価大学宛（大学コード B413）に、スコアレポート（電子データ）の直送手配をかけてください。 ●出願書類として、 <u>Test Taker Score Reportのコピー</u> を、他の出願書類とともに郵送してください。 ※ 直送手配は、出願期間締切最終日までに本学で電子データが確認できるように、必ず余裕をもって手配を行ってください。 電子データが間に合わない場合は、提出書類として認めません。（出願期間前に直送手配をしてもかまいません。） ※スコアの直送において、手配ミス等、いかなる理由であっても本学では責任を負いかねます。

合格発表について

1 合格発表の方法

- ①合格発表は、ホームページ上で行います。ホームページは、スマートフォン・パソコンからアクセスできます。確認可能期間は、以下の表を参照してください。掲示による合格発表は行いません。
- ②PASCAL入試第一次選考合格者には、「第一次選考合格通知（第二次選考受験票）」および「第二次選考のご案内」を郵送します。第二次選考合格者には、「合格通知」および「入学手続きのご案内」を郵送します。
- ③基礎学力方式および小論文方式の合格者には、「合格通知」および「入学手続きのご案内」を郵送します。
- ④不合格者には、本学からの郵便等での個別通知は行いません。
- ⑤合否についての問い合わせには、一切応じません。

入試・方式	発表日時	インターネットによる 合否確認可能期間
PASCAL入試（第一次選考）	2024年10月1日（火）	2024年10月1日（火）午前10：00～ 10月4日（金）午前10：00
PASCAL入試（第二次選考）	2024年11月1日（金）	2024年11月1日（金）午前10：00～ 11月4日（月）午前10：00
基礎学力方式	2024年12月4日（水）	2024年12月4日（水）午前10：00～ 12月7日（土）午前10：00
小論文方式	2024年12月21日（土）	2024年12月21日（土）午前10：00～ 12月24日（火）午前10：00

2 合格案内サービスについて

スマートフォン・パソコンから合否を確認することができます。

合格案内の時間帯

合格発表日の午前10時から所定の期間内は、いつでも確認できます。ただし、それ以降は確認できませんのでご注意ください。

【インターネット(スマートフォン・パソコン)による合否確認(受験生の操作手順)】

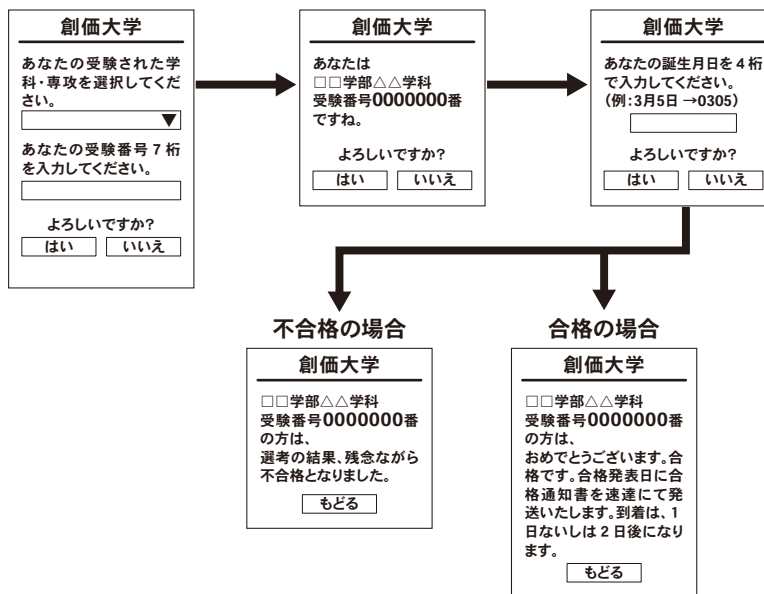
インターネットアドレス(URL)

<https://www.gouhi.com/soka/>
(スマートフォン・パソコン共通)



※QRコードリーダー対応スマートフォンをお持ちの方は、こちらのQRコードを読み取り、表示されたURLに接続してください。

スマートフォン・パソコン画面操作手順



※スマートフォン・パソコンの画面デザインは、変更される場合がございます。

出願方法・入学検定料

1 入学検定料

入学検定料：33,000円（入学検定料の他に振込手数料がかかります。）

納入された入学検定料は、原則として返還いたしません。ただし、出願期間内に必要書類を提出しなかった、もしくは、出願が受理されなかった場合に限り、返還申請期限内（下記リンクを参照）に申請した場合、返還いたします。※手数料の返還はできません。

該当する場合は、「[入学検定料の返還について（リンク）](#)」を確認してください。

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/department/internet-syutsugan/>

2 出願手続きの方法（インターネット出願）

出願は、「インターネット出願」に限ります。

インターネットに接続でき、印刷できる環境（PCとプリンター等）を準備してください。または、スマートフォン、タブレットでの操作も可能ですが、この場合もコンビニエンスストア等を利用して書類を印刷できる環境が必要です。

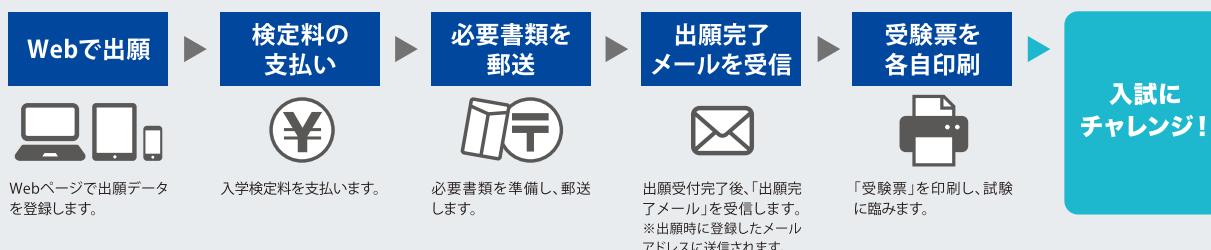
本学のウェブページ（<http://www.soka.ac.jp/>）から「インターネット出願」専用サイトへアクセスしてください。

具体的な「[インターネット出願の出願手続き（リンク）](#)」はこちらからご覧ください。

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/department/internet-syutsugan/>



インターネット出願の流れ



※出願書類を郵送後、出願受付完了まで数日かかります。

<お問い合わせ先>

■入学試験制度、入学試験の実施に関すること、入学手続きについて

創価大学アドミッションズセンター TEL：042-691-4617

【月～金】9：30～17：00、【土】9：30～12：00、日曜祝日、年末年始は除く

出願書類に不備があった場合、下記の専用窓口からご連絡します。

「創価大学入試受付センター（TEL:03-6738-9287）」

専用窓口は、不備書類対応専用のため、その他のお問い合わせは、上記のアドミッションズセンターにご連絡ください。

個人情報について

出願書類に記入していただいた住所、氏名、電話番号等の個人情報は、入学試験、入学手続きおよび入学後の本人認証、各種連絡に使用します。

また、これらの個人情報は、本学の個人情報保護規程に基づいて厳重に管理します。

入学手続きについて

入学手続き（スケジュール）

①入学手続きは、次の手続きを全て行って完了します。

合格者（PASCAL入試は第二次選考合格者）には、合格発表日に「合格通知」および入学手続きに関するご案内を郵送します。入学手続きに関するご案内（到着は、合格発表日の1～3日後になります）に従って手続きを行ってください。

【1】 入学金の振込、第1次入学手続き（オンライン）

【2】 学費等諸納付金の振込

入試・方式	【1】 入学金振込期限・ 第1次入学手続き締切日	【2】 学費等諸納付金振込期限
PASCAL入試	2024年12月16日（月）	2025年3月3日（月）
基礎学力方式		
小論文方式	2025年1月14日（火）	

※上記スケジュールは、変更する場合がございます。

【3】 第2次入学手続き（3月）

②期限内にすべての手続きが完了しない場合は、合格を取り消します。

③入学手続きには、「卒業証明書」の提出と入学する際の「保証人」を明確にしておく必要があります。

入学前教育プログラムについて

合格者は、合格から入学までの間に、本学が指定する入学前教育プログラムを受講することになります。入学支援システムを通じて、下記の日程で入学前教育プログラムに関するご案内を配信しますので、詳しくはその内容をご確認ください。

PASCAL入試	合格者：2024年11月中旬まで
基礎学力方式	合格者：2024年12月中旬まで
小論文方式	合格者：2025年1月上旬まで

入学金・学費・諸費

1年次の納付金について（全入試共通）

「入学金振込期限」内に入学金を納付してください。なお、一度納めた入学金は入学を辞退しても返還しませんので、ご注意ください。入学金を除く学費等の納入は、1回払い、2回払いが選択できます。

■1年次の納付金（2025年度予定）

内訳	項目	経済・経営・法学部	文・教育学部	理工学部	看護学部 ^{*1}	国際教養学部 ^{*2}
入学金		200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
学費	授業料	950,000円	970,000円	1,280,000円	1,240,000円	1,210,000円
	実習費	-	-	90,000円	160,000円	-
諸費	学友会費	19,000円	19,000円	19,000円	19,000円	19,000円
計		1,169,000円	1,189,000円	1,589,000円	1,619,000円	1,429,000円

■2回払いで納付する場合の納付金（2025年度予定）

	内訳	項目	経済・経営・法学部	文・教育学部	理工学部	看護学部 ^{*1}	国際教養学部 ^{*2}
1回目 (春学期)	入学金		200,000円	200,000円	200,000円	200,000円	200,000円
	学費	授業料	475,000円	485,000円	640,000円	620,000円	605,000円
		実習費	-	-	45,000円	80,000円	-
	諸費	学友会費	19,000円	19,000円	19,000円	19,000円	19,000円
	計		694,000円	704,000円	904,000円	919,000円	824,000円

	内訳	項目	経済・経営・法学部	文・教育学部	理工学部	看護学部 ^{*1}	国際教養学部 ^{*2}
2回目 (秋学期)	入学金		-	-	-	-	-
	学費	授業料	475,000円	485,000円	640,000円	620,000円	605,000円
		実習費	-	-	45,000円	80,000円	-
	諸費	学友会費	-	-	-	-	-
	計		475,000円	485,000円	685,000円	700,000円	605,000円

※ 学友会費は、実情に即して改定されることがあります。

※1 一般社団法人日本看護学校協議会共済会が運営する総合補償制度（Will2）の保険料（年間保険料4,500円）が別途、毎年必要になります（保険料変動あり）。

※2 学費には、往復航空運賃、留学先授業料、海外傷害保険料が含まれています。その他の費用（ビザ代、寮費・ホームステイ費、現地大学健康保険費、食費、交通費など）は全て自己負担となり、各留学先の国によって異なります。参考として、カナダ約89万円～（1CAD=116円）、オーストラリア約101万円～（1AUD=106円）、アメリカ約188万円～（1USD=158円）です。また、留学先での生活状況・為替の変動によって更に費用が掛かる場合や、現地留学先大学での学生受け入れや住環境の状況により、今後寮費・ホームステイ費が変動する可能性があります。（為替レートは2024年6月時点です。）

2回払いの2回目（秋学期分）の納入期間は、秋学期の10月中旬頃から11月上旬頃までです（予定）。秋学期分の納付書は、10月中旬頃に郵送します。

上記の学費のほかに、教職課程を希望する場合は、別に「課程登録費」が必要になります。	課程	登録費（1年生または2年生）	更新費（教育実習登録時）
	教職課程（幼・小）	25,000円	25,000円
	教職課程（中・高）	25,000円	25,000円

2年次以降の納付金について

2年次以降は入学金、学友会費を除いた、授業料、実習費を納金いただきます。

PASCAL入試

PASCAL (Performance Assessment of Students' Competency for Active Learning) 入試選考趣旨

「PASCAL (パスカル) 入試」はアクティブラーニング (Active Learning、能動的学習) の要素を取り入れた、総合型選抜です。PASCAL入試の正式名称「Performance Assessment of Students' Competency for Active Learning入試」は、アクティブラーニング (Active Learning) を行うための学生 (Student) のコンピテンシー (Competency、行動特性) をペーパーテストではなく、パフォーマンス (Performance) によって評価 (Assessment) するという、この入試の目的と特徴をそのまま表しています。

2025年度入試から理工学部※を加え、全学部でアクティブラーニングの一手法であるLTD (Learning Through Discussion、話し合い学習法) 方式のグループワークを行います。LTDは予習とグループディスカッションで構成されます。受験生は予め提示された予習教材を読み、各自で予習ノートを作成します。入試当日のグループディスカッションでは、持参した予習ノートを手がかりにグループで教材の内容について話し合います。その中で評価者 (監督員) は、受験生がどのように主体的に自分の意見を表現するか、他者の意見に接してどのように教材への理解を深めていくかなどを観察し、一人一人の主体性、協働性といった行動特性 (Competency) の能力・資質を客観的に評価していきます。

理工学部では、アクティブラーニングの一手法であるプレゼンテーション方式※の選考を行います。あらかじめ提示された課題の中から、事前にその課題の概要、問題点、解決方法、是非等をまとめてプレゼンテーション資料を作成し、発表すると共に質疑応答を行います。発表および質疑応答を通して、独創性、論理性や協働性といった行動特性 (Competency) の能力・資質を客観的に評価していきます。

これらの選考により、受験生の学力の3要素 (①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) を総合的・多面的に評価し、選考を行います。

第一次選考は書類選考で、第二次選考はすべてオンラインにて実施いたします。

このPASCAL入試を実施し、本学が輩出を目指す人材像である「創造的人間」の資質を豊かに持った学生を迎え入れたいと考えています。受験生の果敢なチャレンジをお待ちしています。

※理工学部出願者は、LTD方式、またはプレゼンテーション方式のどちらか1方式のみで受験可能。2方式の併願不可。

PASCAL入試の第一次選考における各学部の評価の視点

○経済学部

経済学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、その他に外部英語検定試験または実用数学技能検定、統計検定、情報処理検定などを評価します。また、高校時代までの海外経験、インターンシップ、部活動、地域活動、コンテスト・コンクール、ボランティアなど、受験者のこれまでの活動や実績などを評価します。

○経営学部

経営学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、学業での優れた成績（学習成績の状況 [評定平均値]）、その他に実用英語技能検定などをはじめとする英語運用能力や、簿記検定、実用数学技能検定、統計検定、情報処理検定などを評価します。また、これまでに海外留学経験のある人や、学内・課外活動を行ってきた人を評価します。

○法学部

法学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、実用英語技能検定などをはじめとする英語運用能力および各種の検定・資格取得を評価します。また高等学校や高等専門学校での学業で優れた成績を収めた人や学内・課外活動を行ってきた人を評価します。さらに高等学校卒業や高等専門学校修了までの間に、海外留学経験のある人を積極的に評価します。

○文学部

文学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、調査書に記載された全ての項目において丁寧に評価します。学業での優れた成績（学習成績の状況 [評定平均値]）、生徒会活動や部活動の他、各種大会や社会的活動、取得した資格や免許なども評価します。さらに高等学校卒業や高等専門学校修了までの間に、海外留学経験のある人を積極的に評価します。

○教育学部

教育学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、高等学校や高等専門学校での学業での優れた成績（学習成績の状況 [評定平均値]）、実用英語技能検定などをはじめとする英語運用能力、生徒会活動や部活動の他、各種大会や社会的活動なども評価します。

○理工学部 情報システム工学科

理工学部情報システム工学科ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、調査書に記載された全ての項目をもとに、高校での様々な活動、生徒会活動、部活動、各種コンテスト・コンクールへの参加、ボランティア活動、資格（外部英語検定試験、実用数学技能検定、統計検定、情報処理検定、またはCG-ARTS検定など）や免許、留学経験などを評価します。また、理系か文系かを問わず、プログラミングや情報システムに興味があり、独創性を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持った人を評価します。

○理工学部 共生創造理工学科

理工学部共生創造理工学科ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、調査書に記載された全ての項目をもとに、高校での様々な活動、生徒会活動、部活動、各種コンテスト・コンクールへの参加、ボランティア活動、資格や免許、留学経験などを評価します。また、理系か文系かを問わず、科学に関する情報解析や政策などに興味があり、独創性を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持った人を評価します。

○看護学部

看護学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、調査書に記載された項目を丁寧に評価します。学業での優れた成績（学習成績の状況 [評定平均値]）、出席日数を評価します。さらに高等学校卒業や高等専門学校修了までの間に取得した検定・資格なども評価します。

○国際教養学部

国際教養学部ではPASCAL入試の選考趣旨を踏まえ、その他に調査書に記載された全ての項目において丁寧に評価します。学業での優れた成績（学習成績の状況 [評定平均値]）、生徒会活動や部活動、また各種大会や社会的活動、取得した資格や免許などです。さらに高等学校卒業や高等専門学校修了までの間に、海外留学経験のある人を積極的に評価します。

PASCAL入試 選考方法

二段階選考を行います。

＜第一次選考＞ 200点（全学部）

書類審査

(1) 調査書

(2) 自己推薦書（本学所定の用紙 800字以上1000字以下）

※国際教養学部は英文タイピングで記入してください。単語数は450語以上550語以下。

(3) 出願要件・資格等証明書類

＜第二次選考＞ 140点（うち50点は第一次選考×0.25）

LTD方式の第二次選考：全学部（経済・経営・法・文・教育・看護・国際教養・理工学部）

第一次選考合格者に対し下記の選考を行います。第一次選考合格者には「予習教材」と「予習ノート」（本学様式）、「オンライン選考での注意点（映像）」を提示します（第一次選考合格発表日に郵送する「第二次選考のご案内」にて通知）。受験者は事前に「予習教材」を精読し、創価大学ホームページで公開している「LTDガイダンス映像」を参考に、「予習ノート」を作成のうえ、第二次選考当日は手元に準備してください。

選考はオンライン会議システム「Zoom」を利用して行います。

(1) LTD（Learning Through Discussion）方式のグループワーク（60分）

(2) 面接試験（個別面接）（15分）

※面接は、面接員2名、受験者1名で行います。

※国際教養学部は、面接試験を日本語と英語の両言語を用いて行います。

プレゼンテーション方式の第二次選考：理工学部

第一次選考合格者に対し下記の選考を行います。学科ごとに第一次選考合格者用の課題を提示しますので、受験者はその中から興味ある課題を1つ選び、事前にその課題の概要、問題点、解決方法等をまとめて、プレゼンテーション資料を作成のうえ、そのファイルを事前に提出してもらいます。

プレゼンテーション資料の提出は、第一次選考合格者専用ページから10月15日（火）までにアップロードしていただきます。第一次選考合格者専用ページのリンクは、「第二次選考のご案内（第一次選考合格通知）」に記載します。データ提出後は、原則修正できません。

第二次選考では事前に提出してもらった資料を用いて発表してもらいます。

選考はオンライン会議システム「Zoom」を利用して行います。

※プレゼンテーション資料は、PCで作成したものとしますが、作成のために使用するソフトウェアについては問いません。

(1) 発表および質疑応答

発表と質疑応答は、原則受験者4名1グループで行い、個人で5分発表後、受験者相互に5～10分質疑応答を行ってもらいます。

4名1グループでの実施の場合、4名×（5+5～10）分で約40～60分となります。

(2) 面接試験（個別面接）（15分）

※面接は、面接員2名、受験者1名で行います。

◆第一次選考合格者用課題【プレゼンテーション方式】：理工学部

(1) 情報システム工学科

次のテーマのうち1つ選び概要と問題点を述べ、その解決方法について意見を述べよ。

1. 学校におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進
2. 生成AI（Chat GPTなど）の効果的な活用方法
3. 数学のゲーム開発への応用

(2) 共生創造理工学科

まず、以下に示すテーマから1つ選び、そのテーマに関するトピックを自分で考えなさい。

その上で、そのトピックの概要と問題点を上げ、それに対する解決策や自分の意見を述べよ。

1. 気候変動による海洋環境の変化
2. 感染症の拡大とその対策
3. 持続可能社会における新素材の開発

<評価>

第一次選考結果と第二次選考結果を合わせて、総合的に評価します。

PASCAL入試 入試日程等

入学試験日程等

出願期間	第二次選考日	合格発表
2024年9月2日(月) ┆ 2024年9月13日(金) <締切日消印有効>	2024年10月19日(土) LTD方式 対象学部：経済、経営、法、文、教育、看護、国際教養、理工学部 2024年10月20日(日) プレゼンテーション方式 対象学部：理工学部	〈第一次選考合格発表〉 2024年10月1日(火) 〈第二次選考合格発表〉 2024年11月1日(金)

※合格者には入学前教育プログラムを課します。

試験時間・試験科目

日時	学部	経済	経営	法	文	教育	看護	国際教養	理工		
	学科	経済	経営	法律	人間	教育	児童教育	看護	国際教養	情報システム工	共生創造理工
2024年10月19日(土)	出題科目										
10:30～11:30	LTD方式のグループワーク60分※1										
	休憩(昼食)										
13:15～	面接※2										

- 試験開始の30分前(10:00)までにZoomの待機室に入室してください。(URL等は第一次選考合格者に通知します。)
- 面接は、大学で指定した試験開始時刻までにZoomの待機室に入室していない場合は、受験することができません。
- ※1 P.21「受験(第二次選考)にあたっての注意事項」参照。
- ※2 面接員2名、受験者1名での個別面接(15分)を行います。国際教養学部については、日本語と英語の両言語を用いて行います。

日時	理工学部	
	情報システム工学科	共生創造理工学科
2024年10月20日(日)	出題科目	
10:10～11:10※1	プレゼンテーション資料を用いた、発表および質疑応答※2	
	休憩(昼食)	
14:00～	面接※3	

- 試験開始の10分前(10:00)までにZoomの待機室に入室してください。(URL等は第一次選考合格者に通知します。)
- 面接は、大学で指定した試験開始時刻までにZoomの待機室に入室していない場合は、受験することができません。
- ※1 4名1グループの場合。グループの人数により終了時間は異なります。(最大5～6名)
- ※2 P.21「受験(第二次選考)にあたっての注意事項」参照。
- ※3 面接員2名、受験者1名での個別面接(15分)を行います。

受験（第二次選考）にあたっての注意事項

第二次選考について

オンライン（Zoom）での選考の実施になります。受験に際しては、インターネットに接続可能な、受験者の顔の映像を映すことができるカメラ付きの端末（パソコン、タブレット、スマートフォン等）が必要です。そのうえで、インターネット通信環境が安定しており、生活音等の影響がない場所で受験してください。

大量のデータ通信が発生する恐れがあるため、また安定した通信環境での受験のため、パソコンの場合はLANケーブルに接続された状況または安定したWi-Fi環境下、タブレット、スマートフォン端末の場合は安定したWi-Fi環境下で受験できるようにしてください。パソコンでの受験を推奨いたしますが、使用端末による受験上の不利はありません。ただし、理工学部プレゼンテーション選考については、作成したプレゼンテーション資料を試験中に画面共有してもらいますので、パソコンでの受験を推奨いたします。

第一次試験合格者に対しては、専用ホームページでオンライン選考での注意点等を配信するとともに、事前に通信環境のテスト（必須、P.23参照）を行います。

なお、通信端末や通信環境および、理工学部におけるプレゼンテーション資料の準備が難しい場合には、個別にご相談に応じます。

受験票について

<第一次選考受験票>

- (1)出願の手続きが完了し、出願書類が不備等なく出願資格を満たしていれば、郵送到着数日後からマイページにて印刷できます。「受験票」を各自印刷してください。
- (2)「受験票」はインターネット出願のマイページに表示されます。A4サイズの用紙に印刷してください。印刷は、カラー・モノクロどちらでも可です。
- (3)インターネット出願のマイページから「受験票」を表示し、記載事項に誤りがないか、必ずご確認ください。
もし、誤りがあった場合は速やかに創価大学アドミッションズセンター（TEL:042-691-4617）までご連絡ください。
- (4)第一次選考受験票は、第一次選考合格発表の合否確認に使用します。

<第二次選考受験票>

- (1)第一次選考合格者には、「第一次選考合格通知（第二次選考受験票）」および「第二次選考のご案内」を郵送します。
 - (2)第二次選考当日には、「第一次選考合格通知（第二次選考受験票）」を必ず手元に準備してください。
- ※第一次選考受験票は不要です。

郵送日：2024年10月1日（火）
（到着は1～3日後になります）

第二次選考受験上の注意

<LTD方式・プレゼンテーション方式共通の注意点>

- (1)第二次選考受験票（第一次選考合格通知）は、受験時必ず手元に準備し、いつでも提示できるようにしておいてください。
- (2)第二次選考の際は、時計があった方が便利です。時計は各自で極力ご準備ください。ストップウォッチの利用も可とします。
- (3)「Zoom」は、パソコンでの機能の方が充実しており、スムーズに操作できます。
- (4)「Zoom」のシステム利用時の通信量は、1時間程度で約500～700MB（メガバイト）を消費しますので、LANケーブル接続のパソコン利用以外の場合は、できるだけWi-Fi環境下での受験を推奨します。ただし、公衆無線LAN（Wi-Fi）は通信速度が安定しないため利用しないでください。
- (5)受験場所は、生活音等による受験の妨げがないよう、静穏な環境を各自ご検討ください。生活音に十分配慮したうえで、自宅での受験も可とします。
- (6)受験時、口元が見えない場合には話しているかどうか確認しづらいため、画面上で口元が隠れないように注意してください。
- (7)受験者の話し声が小さい場合、また他の受験者の声が聞き取りづらい場合は受験が不利になる場合がありますのでご注意ください。受験時にイヤホン、イヤホンマイク、ヘッドセット等の使用は可とします。
- (8)受験時、利用端末のバッテリー残量には注意をしてください。
- (9)服装は自由です。

<LTD方式の注意点>

LTDの際、手元に置けるものは受験票、予習ノート、筆記用具、時計になります。予習教材をLTD中に見ることはできません。

<プレゼンテーション方式の注意点>

プレゼンテーションおよび質疑応答の際、手元に置けるものは受験票、プレゼンテーションに必要な資料やメモ、筆記用具、時計になります。

※オンライン受験上の質問に対しては、本学ホームページ上にQ&Aを設けます。そちらも確認をするようにしてください。

<https://www.soka.ac.jp/admissions/exam-info/department/internet-syutsugan/onlineqanda/>



第一次選考合格者に対しての通信環境テストについて

第一次選考合格者に対しては、第二次選考のオンライン接続の通話環境テストを以下の日時にて行います。各受験者の実施時間は、第一次選考合格発表日に郵送する「第二次選考のご案内」にて通知します。

大学から時間帯を指定しますので、対応できるように準備をお願いいたします。通信環境テストは複数名のグループごとに20～30分程度で行います。

大学が指定した実施日時でどうしても都合がつかない場合は、個別にご相談に応じます。

実施日：10月12日（土） 9：15～17：45

- ① 9：15～ 9：45 ②10：00～10：30 ③10：45～11：15 ④11：30～12：00
⑤13：30～14：00 ⑥14：15～14：45 ⑦15：00～15：30 ⑧15：45～16：15
⑨16：30～17：00 ⑩17：15～17：45

不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

また、受験したPASCAL入試の全ての選考の成績を無効とします。

なお、不正行為を行った場合、警察に被害届を提出することがあります。

- (1)志願票、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど)をすること。
- (2)受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (3)試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (4)試験において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (5)試験において監督者等の指示に従わないこと。
- (6)その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

基礎学力方式

基礎学力方式 各学部学科の選考趣旨

1. 経済学部経済学科

創価大学経済学部は以下のアドミッションポリシーを掲げて、入学選抜を行います。

- (1) 経済学部が、開学以来、掲げてきた人間主義経済の理念に共感し、世界の平和と人類の幸福に貢献し、グローバル社会でリーダーとして活躍する意志をもって本学部での学修を希望する学生
 - (2) 問題発見・解決、さらに論理的な思考・判断・表現に必要とされる十分な知識・技能を修得するための基礎学力を有している学生
 - (3) グローバル社会で活躍するうえで必須となる基礎的な英語力を有している学生
- とくに基礎学力方式では、学力テストと合わせて書類審査、面接試験を実施し、高校での諸活動、語学・数学などの各種資格試験取得、さらには、人間性・社会性・問題意識の高さ等について審査します。高い学習意欲をもち、社会に貢献する人材を目指す皆さんの志願を待っています。

2. 経営学部経営学科

本学部では、グローバルなビジネス社会で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。そのためにも基礎学力方式の受験生には学力テストのほかに経営学部への入学動機や人物についての評価も行います。単なる学力テストの形式では測ることのできない受験生の優れた「個性」を発見したいと思えます。

まず高校からの調査書、推薦書、高校生活の記録などから出席状況、語学・簿記など各種資格の取得状況、クラブ活動や学園祭などでの活動状況、ボランティア活動などの状況を総合的に判断します。さらに面接試験によって、受験生の「人物」、経営学部への「志望動機」、学力テストでは計れない「論理的なものの考え方」などを、質問一応答を通じて評価します。このため面接試験では、素直に受験生に話してもらいたいと願っています。また一人ひとりの受験生にできるだけ多くの時間をかけ、慎重に選抜を行います。

向上心を持った個性豊かな生徒の皆さんの積極的な志願を待っています。

3. 法学部法律学科

本学部では、次のような人材の輩出を目指しています。(1) 自分の意見を的確に表現できるとともに、将来についての明確な目標やビジョンをもち、その実現のために能動的に考え、行動ができる主体性ある人材。(2) 社会における様々な出来事や法的紛争について、問題を発見し、それを分析し解決する能力を有する、創造性豊かな人材。(3) 「生命」や「人権」の大切さを理解し、他者への思いやりをもった、人間性豊かな人材。(4) グローバルな発想と視野をもって、「平和社会」の実現に寄与することのできる国際性豊かな人材。そのために、とくに基礎学力方式では、単に学力テストの結果だけで合否を判断するのではなく、より多角的、総合的な観点から人物を判断し、評価することに主眼を置いています。

英語、数学、国語いずれかの筆記試験を課しますが、それに加えて、面接で以下の点を審査します。大学での学問研究に強い意欲をいただいているか、将来について一定の目標を持っているか、これまで培ってきた教養はどの程度か、などです。また、高等学校での勉学、クラブ活動、資格取得などの実績も考慮されます。大学教育に必要な基礎学力を有し、熱意あふれる生徒の皆さんの志願を期待しています。

4. 文学部人間学科

文学部人間学科は、言語・社会・歴史・哲学・文学など、広範囲にわたる人間の文化活動を深く

学ぶことで、次のような人材育成を目指します。(1) 人間として、幅の広く、かつ深い教養を身につけ、自己啓発・自己実現する力を持った人材。(2) 文章力、発表力、情報収集力など、語学やメディアスキルとともに、時代の要請に対応した基礎能力を身につけた人材。(3) 人間理解、生命理解の上に立った、世界の文化形成、平和建設に貢献する人材。すなわち「人間学科」の名称が示すように、「創造的人間」「全体人間」として、各界・各分野で本格的に活躍できる実力を養成したいと考えています。

基礎学力方式では、皆さんの高校時代の状況を総合的に評価し、学力テストとともに、面接を行います。とくに面接では、質疑応答を通して、学習への意欲・目的観や問題意識などを評価したいと思っています。意欲ある皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

5. 教育学部教育学科・児童教育学科共通

本学部では、一般的な指導力はいうまでもなく、学習者の心情を理解し適応を援助する能力、コミュニケーション（国際的共通語としての英語による理解・伝達を含む）の能力、情報処理と機器操作の能力、問題解決能力などを重点的に養成しようとしており、そうした諸能力の素地となる学習能力・思考力・持続力などの基礎的能力をとくに重視して評価します。

そのために、基礎的能力が反映しやすい英語使用の能力をひとつの重要な尺度として活用するとともに、面接では人間性・学習意欲・目標意識の明確さなどを中心に、上述の諸能力を可能な限り考慮に含めて評価する方針です。

6. 理工学部情報システム工学科・共生創造理工学科共通

本学部では、理工学の基礎から応用にいたる学問分野を学び、人間主義を標榜する建学の精神を尊重し、下記のような人材を広く社会に求めます。

- (1) 社会に必要な科学技術の健全な価値を提示したいと願う人
- (2) 平和の理念に徹し、民衆幸福のため他者へ貢献する世界市民をめざす人
- (3) 進取の気性を持ち真摯に学問に取り組む労苦を惜しまない人

上記の高い志に支えられたグローバルな適応力を備え、産業界、教育界、官界、あるいは学術界などの広い分野で活躍できる人材を育成します。

基礎学力方式では、英語もしくは数学の基礎学力テストとともに、皆さんの高校時代の状況を、生活態度、成績、学内活動、学外活動、ボランティア、資格取得等の観点から総合的に評価します。また、面接においては、上記の求める人材像に相応しい意欲、目的観、問題意識を有するかについて評価する方針です。

7. 看護学部看護学科

本学部は、生命尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の看護を実践できる人材の育成を目指し、次の5点をアドミッション・ポリシーに掲げて、入学選抜を行います。

- (1) 心身ともに健康で、生命の尊厳を探究し生涯学び続けていこうとする学生
- (2) 適切なコミュニケーションを通じ、良好な人間関係を形成しようとする学生
- (3) 人間の心と体に関心を持ち、科学的に理解しようとする学生
- (4) グローバル化する健康問題に関心を持ち、自発的に問題の探究をしようとする学生
- (5) 人々の健康の保持・増進のために看護の分野で社会に貢献しようとする学生

特に基礎学力方式では、学力テストだけでは測ることのできない、学びに対する意欲、基礎的なコミュニケーション能力、人間の身体や健康問題を始めとした社会問題に対する問題意識の高さなどを、高校生活における学業や課外活動等への取り組み、および面接における質疑応答を通じて確認します。

ヒューマンケアのプロフェッショナルを目指す、向上心と向学心に溢れた皆さんの志願を待っています。

8. 国際教養学部国際教養学科

本学部は、グローバル時代の諸問題を自分自身の課題ととらえ、その解決に進んで取り組む地球

市民の育成を目指しています。そのために、(1) 異文化を理解し、グローバル社会で通用する高度な英語運用能力、(2) 人文・社会科学にわたる幅広い教養、(3) 学際的視点から課題を分析し、創造的な解決を導く問題解決力、(4) 国際社会の平和と繁栄を目指すグローバル・マインドを有する人材を求めています。国際教養学部では、授業は基本的に英語で行われるため、英語力は必須です。

基礎学力方式では、出願資格として、国際教養学部で定めた基準以上の英語資格・スコアの提出を求めています。そのうえで、世界に生起するさまざまな課題の現象を分析し、その本質に迫り、解決の方途を提示するのに必要な論理的思考能力を判断するために、国語の試験を課します。さらに、書類審査と面接を通して、世界各地で生起する諸問題への深い関心と、国際貢献の高い志を、多角的・総合的な観点から評価します。世界を舞台に活躍する、未来のリーダーの積極的な志願を待っています。

基礎学力方式 選考方法

- (1) 書類審査 (50点)
 - ・ 調査書
 - ・ 自己推薦書
 - ・ 出願資格・各種資格等証明書類
- (2) 筆記試験 (100点) ※外部英語検定試験の利用についてはP.9参照
- (3) 面接試験 (50点) ※面接は、面接員2名、受験生1名で行う。国際教養学部については、日本語と英語の両言語を用いて行う。

基礎学力方式 入学試験日程等

試験日	出願期間	合格発表
2024年11月23日 (土)	2024年11月1日 (金) ~ 11月11日 (月) <締切日消印有効>	2024年12月4日 (水)

試験場	住所
創価大学	〒192-8577 八王子市丹木町1-236

基礎学力方式 試験時間・試験科目

時間	教科 (配点)	学部	経済	経営	法	文	教育		理工		看護	国際教養
		学科	経済	経営	法律	人間	教育	児童教育	情報システム 工	共生創造 理工	看護	国際教養
		出題科目										
書類審査 (50点)		出願時に提出された書類を審査										
10:30 ～ 11:30	筆記試験 (100点)	「英語」、 「数学」、 「国語」の いずれかを選択 ※1 ※2 ※3					「英語」または 「数学」の いずれかを選択 ※1 ※2			「英語」、 「数学」、 「国語」の いずれか れかを選 択 ※1 ※2 ※3		「国語」 ※3
休憩 (昼食) 90分												
13:00 ～	面接試験 (50点)	原則として面接員2名、受験生1名で行います。 国際教養学部は日本語と英語の両言語を用いています。										

※1 英語：英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ、論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

※2 数学：数学Ⅰ、数学A（図形の性質、場合の数と確率）、数学Ⅱ、数学B（数列）

※3 国語：現代の国語、言語文化（近代以降の文章のみ）

●試験開始の20分前までに入室してください。なお、遅刻限度時刻（試験開始後20分）を設けています。

筆記試験：「英語」「数学」「国語」はマークシートによる解答方式です。

●得点調整について

選択科目については、難易度差による不利が生じないように、判定処理を行います。

得点調整する場合は、中央値補正による得点調整を行います。

外部英語検定試験の利用について

以下①～⑤のスコア等所持者は、その点数に従って筆記試験「英語」の得点を換算します。得点換算した場合も書類審査、面接試験は実施します。

① 実用英語技能検定 2級以上の 検定試験の CSE2.0スコア	② GTEC検定版 (Core/Basic/ Advancedタイプ) およびGTEC CBTタイプ (オフィシャルスコア)	③ TOEIC® LISTENING AND READING TEST (公開テスト)	④ TOEFL iBT (Test Dateスコア) ※MyBest™スコア 不採用	⑤ IELTS アカデミック ・モジュール (オーバーオール・ バンド・スコア)	換算率 (3段階)
2300	1180	730	72	5.5	90%
2140	1055	640	63	5	80%
1980	930	550	54	4.5	70%

※外部英語検定試験の利用者は、筆記試験「英語」を受験しなくてもよい。受験した場合は、外部英語検定試験換算点と筆記試験「英語」で高い得点を合否判定に使用（「国語」「数学」を受験した場合は「国語」「数学」は無効で、外部英語検定換算点のみ採用）します。

また、外部英語検定試験の得点換算は、中央値補正法による得点調整を行いません。

※証明書類の提出方法、注意事項（P.9）を必ずご確認ください。

受験にあたっての注意事項

試験場への入退場

- (1) 受験票は必ず携行し、試験場入口で提示してください。もし受験票を紛失したり忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。本人であることを確認の上、受験票が再発行され入場することができます。
- (2) 試験場ならびに試験教室（創価大学）は午前9時から、入場可能です。
- (3) 試験教室には、試験開始時刻の20分前までに入場し、ご自分の受験番号の席に着席してください。
- (4) 基礎学力方式の各筆記試験には、入室限度時刻（試験開始後20分）を設けています。
- (5) 試験時間中に退出することはできません。
- (6) 全試験が終了するまで、特別な理由がない限り試験場の外へは出られません。
- (7) スリッパ等の上履きを持参する必要はありません。

受験票について

- (1) 出願の手続きが完了し、出願書類が不備等なく出願資格を満たしていれば、郵送到着数日後からマイページにて印刷できます。「受験票」を各自印刷してください。
- (2) 「受験票」はインターネット出願のマイページに表示されます。A4サイズの用紙に印刷してください。印刷は、カラー・モノクロどちらでも可です。
- (3) インターネット出願のマイページから「受験票」を表示し、記載事項に誤りがないか、必ずご確認ください。
もし、誤りがあった場合は速やかに創価大学アドミッションズセンター（TEL:042-691-4617）までご連絡ください。
- (4) 「受験票」は印刷のうえ、試験当日に必ずご持参ください。

受験上の注意

- (1) 受験票は必ず机の上に置いてください。
- (2) 解答用紙への記入は、黒鉛筆（HB以上が望ましい）、プラスチック製消しゴムを使用してください。
- (3) 机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計です。
- (4) 定規、下敷、コンパス、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類の使用は認めません。
- (5) 基礎学力方式の「受験科目の選択」は、試験問題を解答する際に行います。選択する受験科目を事前に登録することはありません。
- (6) 携帯電話・スマートフォンは、必ず電源を切り、カバンなどの中にしまってください。
- (7) 試験教室には時計がないため、時計が必要な方は各自用意してください。なお、携帯電話・スマートフォンは試験中には電源を切るため、時計としての使用もできません。
- (8) 服装は自由です。ただし、英文字、和歌・格言等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。

不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

また、受験した入試の全ての教科・科目等の成績を無効とします。

なお、不正行為を行った場合、警察に被害届を提出することがあります。

- (1) 志願票、受験票、自己推薦書、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 配付された試験問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- (5) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- (6) 「解答を始めてください」の指示の前に、試験問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (7) 「解答をやめてください。鉛筆を置いてください」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (8) 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたり使用すること。
- (9) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (10) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (11) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (12) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- (13) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

その他

- (1) 当日は、持参した昼食を試験教室等でとることができます。（なお学内でも軽食を販売しております）
- (2) 換気のために試験教室の窓を開放したままにする場合があります。室内が寒くなる可能性がありますので、上着を持参してください。
- (3) 受験生以外の保護者や付き添いの方は、キャンパスに入構できますが、試験場校舎内には一切入れません。
- (4) 試験当日は、交通渋滞等の不測の事態により、試験場まで予想以上の時間がかかる場合がありますので、余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (5) 受験中に気分が悪くなった場合等は、すぐに試験監督員に申し出てください。
- (6) 面接試験の終了時間は、面接を受ける順番により異なりますが、最終は午後4時頃を予定しています。帰宅する際の飛行機や新幹線のチケットを予約される場合は、時間に余裕をもった計画を立ててください。
- (7) 試験教室に忘れ物をした場合は、試験本部（TEL:042-691-4617）にお問い合わせください。
- (8) 宿泊施設については、創価大学では斡旋していません。

学校保健安全法で出席の停止が定められている 感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については、措置内容が決定後、本学ホームページに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

<受験生の皆さんへお願い>

- (1) 入学試験会場での感染症（インフルエンザ等）の感染を防ぐため、必要に応じて各自マスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみがでる方は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の方への感染防止にご配慮ください。

小論文方式

小論文方式 選考趣旨

総合型選抜「小論文方式」は、受験生の「思考力・判断力・表現力」に比重をおいた試験方式となります。つまり、「考える力・書く力」といった論理的思考力や表現力を小論文を通して評価します。

選考方法は、小論文に加えて、書類審査（調査書・自己推薦書）と個別面接となり、これらを通して総合的に評価、選考を行います。

本入試の出願資格としては、本学の建学の理念およびアドミッション・ポリシーに賛同し、本学への入学が第一志望（合格した場合は必ず入学）の高校3年生および卒業後1年以内の方で、学部・学科専願となります。なお、調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）は問いません。

2030年に向けて「価値創造を実践する『世界市民』を育む大学」をグランドデザインとして掲げる創価大学として、受験生の果敢な挑戦をお待ちしています。

小論文方式 各学部学科の選考趣旨について

1. 経済学部経済学科

創価大学経済学部は以下のアドミッション・ポリシーを掲げて、入学選抜を行います。

- (1) 経済学部が、開学以来、掲げてきた人間主義経済の理念に共感し、世界の平和と人類の幸福に貢献し、グローバル社会でリーダーとして活躍する意志をもって本学部での学修を希望する学生
- (2) 問題発見・解決、さらに論理的な思考・判断・表現に必要とされる十分な知識・技能を修得するための基礎学力を有している学生
- (3) グローバル社会で活躍するうえで必須となる基礎的な英語力を有している学生

とくに総合型選抜入試小論文方式では、小論文試験と合わせて書類審査（調査書・自己推薦書）と個別面接を実施します。そこでは、クラブ、委員会、ボランティアといった高校での諸活動や、語学や数理・情報関連の各種資格の取得状況を総合的に判断するとともに、受験生一人ひとりの人間性・社会性・問題意識の高さ等について丁寧に審査します。高い学習意欲をもち、社会に貢献する人材を目指す皆さんの志願を待っています。

2. 経営学部経営学科

本学部では、グローバルなビジネス社会で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。そのためにも総合型選抜入試小論文方式では、小論文試験のほかに経営学部への入学動機や人物についての評価も行います。単なる学力テストの形式では測ることのできない受験生の優れた「個性」や「創造性」を発見し、それを評価します。

まず高校からの調査書、推薦書、高校生活の記録などから出席状況、語学・簿記など各種資格の取得状況、クラブ活動や学園祭などでの活動状況、ボランティア活動などの状況を総合的に判断します。次に、小論文試験では、論述力、思考力を評価しつつ、これまで培ってきた知識や経験を応用して自分の見解をまとめられるかをみます。さらに面接試験によって、受験生の「人物」、経営学部への「志望動機」、学力テストでは計れない「論理的なものの考え方」などを、質問一応答を通じて評価します。このため面接試験では、素直に受験生に話してもらいたいと願っています。

向上心を持った個性豊かな生徒の皆さんの積極的な志願を待っています。

3. 法学部法律学科

本学部では、次のような人材の輩出を目指しています。(1) 自分の意見を的確に表現できるとと

もに、将来についての明確な目標やビジョンをもち、その実現のために能動的に考え、行動ができる主体性ある人材。(2) 社会における様々な出来事や法的紛争について、問題を発見し、それを分析し解決する能力を有する、創造性豊かな人材。(3) 「生命」や「人権」の大切さを理解し、他者への思いやりをもった、人間性豊かな人材。(4) グローバルな発想と視野をもって、「平和社会」の実現に寄与することのできる国際性豊かな人材。

そのため、総合型選抜入試小論文方式では、単に学力テストの結果だけで合否を判断するのではなく、より多角的、総合的な観点から人物を判断し、評価することに主眼を置いています。小論文試験及び面接試験では、本学部での学問研究に強い意欲をいただいているか、将来について一定の目標を持っているか、これまで培ってきた教養はどの程度か、などの点を審査します。また、高等学校の勉学、クラブ活動、資格取得などの実績も考慮されます。大学教育に必要な基礎学力を有し、熱意あふれる生徒の皆さんの志願を期待しています。

4. 文学部人間学科

文学部人間学科は、言語・社会・歴史・哲学・文学など、広範囲にわたる人間の文化活動を深く学ぶことで、次のような人材育成を目指します。(1) 人間として、幅の広く、かつ深い教養を身につけ、自己啓発・自己実現する力をもった人材。(2) 文章力、発表力、情報収集力など、語学やメディアスキルとともに、時代の要請に対応した基礎能力を身につけた人材。(3) 人間理解、生命理解の上に立った、世界の文化形成、平和建設に貢献する人材。すなわち「人間学科」の名称が示すように、「創造的人間」「全体人間」として、各界・各分野で本格的に活躍できる実力を養成したいと考えています。

総合型選抜入試小論文方式では、受験生の皆さんの論理的思考力と表現力を積極的に評価し、あわせて面接によって学習への意欲・目的観や問題意識などを評価します。意欲ある皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

5. 教育学部教育学科・児童教育学科共通

教育、特に学校教育は教科の知識内容を教えることを通じて、児童生徒の知力・人間力を磨き育てるためのものです。本学部では、そうした教育的営みを豊かにするための、たとえば児童生徒の心情を理解し適応を援助する技能、互いに心を開き善き影響を与え合う対話的コミュニケーション技能、問題の本質を理解し解決に向け周囲と力を合わせる協働的スキルなどを重点的に養成します。

そこで、そうした諸技能の素地となる能力の中でも特に、論理的に考え効果的に伝える思考力・表現力をとくに小論文方式選考を通じて重点的に評価します。また加えて、面接では人間性・学習意欲・目標意識の明確さなどを中心に、豊かな教育的営みの基礎となる諸能力を可能な限り考慮に含めて評価する方針です。

6. 理工学部情報システム工学科・共生創造理工学科共通

本学部では、理工学の基礎から応用にいたる学問分野を学び、人間主義を標榜する建学の精神を尊重し、下記のような人材を広く社会に求めます。

- (1) 社会に必要な科学技術の健全な価値を提示したいと願う人
- (2) 平和の理念に徹し、民衆幸福のため他者へ貢献する世界市民を目指す人
- (3) 進取の気性を持ち真摯に学問に取り組む労苦を惜しまない人

上記の高い志に支えられたグローバルな適応力を備え、産業界、教育界、官界、あるいは学術界などの広い分野で活躍できる人材を育成します。

総合型選抜入試小論文方式では、皆さんの高校時代の状況や学習意欲を、数学や理科の成績だけにとらわれず、調査書と小論文および面接で総合的に評価します。

7. 看護学部看護学科

本学部は、生命尊厳を基調とし、生命力を引き出す慈愛の看護を実践できる人材の育成を目指し、次の6点をアドミッション・ポリシーに掲げて、入学選抜を行います。

- (1) 人々の健康の保持・増進のために看護の分野で社会に貢献しようとする学生
- (2) 生命の尊厳を探究し生涯学び続けていこうとする学生
- (3) 適切なコミュニケーションを通じ、良好な人間関係を形成しようとする学生
- (4) 人間の心と体に関心を持ち、科学的に理解しようとする学生
- (5) グローバル化する健康課題に関心を持ち、自発的に課題を探究しようとする学生
- (6) 自己の健康管理を行える学生

特に総合型選抜入試小論文方式では、論理的に考える力、自身の考えを適切に論じる力を評価し、書類審査と面接においては、高校生活における学業や課外活動等への取り組み、学びに対する意欲、看護専門職の志向性、基礎的なコミュニケーション能力、人間の心と身体、そして健康をはじめとする社会課題に対する意識の高さなどを確認します。

ヒューマンケアのプロフェッショナルを目指す、向上心と向学心に溢れた皆さんの志願を待っています。

8. 国際教養学部国際教養学科

本学部は、グローバル時代の諸問題を自分自身の課題ととらえ、その解決に進んで取り組む地球市民の育成を目指しています。そのために、(1) 異文化を理解し、グローバル社会で通用する高度な英語運用能力、(2) 人文・社会科学にわたる幅広い教養、(3) 学際的視点から課題を分析し、創造的な解決を導く問題解決力、(4) 国際社会の平和と繁栄を目指すグローバル・マインドを有する人材を求めています。国際教養学部では、授業は基本的に英語で行われるため、英語力は必須です。

総合型選抜入試小論文方式では、出願資格として、国際教養学部で定めた基準以上の英語資格・スコアの提出を求めています。そのうえで、世界に生起するさまざまな課題の現象を分析し、その本質に迫り、解決の方途を提示するのに必要な論理的思考能力を評価します。さらに、書類審査と面接を通して、世界各地で生起する諸問題への深い関心と、国際貢献の高い志を、多角的・総合的な観点から評価します。世界を舞台に活躍する、未来のリーダーの積極的な志願を待っています。

小論文方式 選考方法

- (1) 書類審査 (50点)
- ・ 調査書
 - ・ 自己推薦書 (本学所定の用紙 800字以上1000字以下)
※国際教養学部は英文タイピングで記入してください。単語数は450語以上550語以下。
 - ・ 出願資格・各種資格等証明書類
- (2) 小論文：800字以内 60分 (100点)
出題方針：自身が関心のある最近の社会問題と創価大学の建学の精神を関連づけて述べる問題。
※社会問題は、国内・国外いずれの問題であるか問わない。建学の精神は3つを包括的に述べても1つに絞っても良い。
- (3) 面接試験 (50点) ※面接は、面接員2名、受験生1名で行う。国際教養学部については、日本語と英語の両言語を用いて行う。

小論文方式 入学試験日程等

試験日	出願期間	合格発表
2024年12月14日 (土)	2024年11月22日(金)～12月6日(金) <締切日消印有効>	2024年12月21日 (土)
試験場	住所	
創価大学	〒192-8577 八王子市丹木町1-236	

小論文方式 試験時間・試験科目

時間	教科 (配点)	学科	経済	経営	法	文	教育		理工		看護	国際教養
		学部	経済	経営	法律	人間	教育	児童教育	情報システム 工	共生創造 理工	看護	国際教養
		出題科目										
書類審査 (50点)		出願時に提出された書類を審査										
10:30 ～ 11:30	小論文 (100点)	出題方針：自身が関心のある最近の社会問題と創価大学の建学の精神を関連づけて述べる問題。 文字数：800字以内 ※社会問題は、国内・国外いずれの問題であるか問わない。建学の精神は3つを包括的に述べても1つに絞っても良い。										
		休憩 (昼食) 90分										
13:00 ～	面接試験 (50点)	原則として面接員2名、受験生1名で行います。 国際教養学部は日本語と英語の両言語を用いて行います。										

●試験開始の20分前までに入場してください。なお、遅刻限度時刻 (試験開始後20分) を設けています。

受験にあたっての注意事項

試験場への入退場

- (1) 受験票は必ず携行し、試験場入口で提示してください。もし受験票を紛失したり忘れた場合は、試験場入口の係員に申し出てください。本人であることを確認の上、受験票が再発行され入場することができます。
- (2) 試験場ならびに試験教室（創価大学）は午前9時から、入場可能です。
- (3) 試験教室には、試験開始時刻の20分前までに入場し、ご自分の受験番号の席に着席してください。
- (4) 各試験には、入室限度時刻（試験開始後20分）を設けています。
- (5) 試験時間中に退出することはできません。
- (6) 全試験が終了するまで、特別な理由がない限り試験場の外へは出られません。
- (7) スリッパ等の上履きを持参する必要はありません。

受験票について

- (1) 出願の手続きが完了し、出願書類が不備等なく出願資格を満たしていれば、郵送到着数日後からマイページにて印刷できます。「受験票」を各自印刷してください。
- (2) 「受験票」はインターネット出願のマイページに表示されます。A4サイズの用紙に印刷してください。印刷は、カラー・モノクロどちらでも可です。
- (3) インターネット出願のマイページから「受験票」を表示し、記載事項に誤りがないか、必ずご確認ください。
もし、誤りがあった場合は速やかに創価大学アドミッションズセンター（TEL:042-691-4617）までご連絡ください。
- (4) 「受験票」は印刷のうえ、試験当日に必ずご持参ください。

受験上の注意

- (1) 受験票は必ず机の上に置いてください。
- (2) 解答用紙への記入は、黒鉛筆（HB以上が望ましい）、プラスチック製消しゴムを使用してください。
- (3) 机の上に置けるものは、受験票、黒鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、時計です。
- (4) 定規、下敷、コンパス、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類の使用は認めません。
- (5) 携帯電話・スマートフォンは、必ず電源を切り、カバンなどの中にしまってください。
- (6) 試験教室には時計がないため、時計が必要な方は各自用意してください。なお、携帯電話・スマートフォンは試験中には電源を切るため、時計としての使用もできません。
- (7) 服装は自由です。

不正行為について

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。

また、受験した入試の全ての教科・科目等の成績を無効とします。

なお、不正行為を行った場合、警察に被害届を提出することがあります。

- (1) 志願票、受験票、自己推薦書、解答用紙へ故意に虚偽の記入（受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
- (2) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- (3) 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- (4) 配付された試験問題および解答用紙を、試験室から持ち出すこと。
- (5) 「解答を始めてください」の指示の前に、試験問題を開いたり解答を始めること。
- (6) 「解答をやめてください。鉛筆を置いてください」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (7) 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたり使用すること。
- (8) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- (9) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- (10) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- (11) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- (12) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

その他

- (1) 当日は、持参した昼食を試験教室等でとることができます。（なお学内でも軽食を販売しております）
- (2) 換気のために試験教室の窓を開放したままにする場合があります。室内が寒くなる可能性がありますので、上着を持参してください。
- (3) 受験生以外の保護者や付き添いの方は、キャンパスに入構できますが、試験場校舎内には一切入れません。
- (4) 試験当日は、交通渋滞等の不測の事態により、試験場まで予想以上の時間がかかる場合がありますので、余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (5) 受験中に気分が悪くなった場合等は、すぐに試験監督員に申し出てください。
- (6) 面接試験の終了時間は、面接を受ける順番によりますが、最終は午後4時頃を予定しています。帰宅する際の飛行機や新幹線のチケットを予約される場合は、時間に余裕をもった計画を立ててください。
- (7) 試験教室に忘れ物をした場合は、試験本部（TEL:042-691-4617）にお問い合わせください。
- (8) 宿泊施設については、創価大学では斡旋していません。

学校保健安全法で出席の停止が定められている 感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ等）の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験生が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については、措置内容が決定後、本学ホームページに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

<受験生の皆さんへお願い>

- (1) 入学試験会場での感染症（インフルエンザ等）の感染を防ぐため、必要に応じて各自マスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみがでる方は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の方への感染防止にご配慮ください。